

お母さんのひろば

渋川市小中学校PTA連絡協議会家庭教育委員会は、市内23小中学校PTAの女性代表で構成されています。家庭教育委員会では、興味・関心のあるテーマを協議して、年度ごとの事業を実施しています。今年度は、「群馬県の歴史と食」をテーマとして研修会を開催しました。今年度の活動をこの「お母さんのひろば」でお知らせします。

令和元年度 家庭教育委員会役員

委員長：狩野由美子さん（赤城北中学校）
副委員長：岡田 節子さん（古巻中学校）、 町田 彰子さん（北橘中学校）
運営委員：竹田由美子さん（豊秋小学校）、 兼田真由美さん（渋川西小学校）、
真下真利子さん（伊香保中学校）、 佐藤 博美さん（小野上小学校）、
荒井友紀子さん（赤城南中学校）

令和元年度の活動

市P連家庭教育委員会会議

日時：令和元年5月28日（火）
内容：家庭教育委の活動について

群馬県PTA家庭教育研究集会

日時：令和元年11月1日（金）
会場：群馬県生涯学習センター

研修会

日時：令和元年12月13日（金）
内容：歴史体験 富岡製糸場
食体験 こんにゃくパーク

広報紙

「お母さんのひろば」（本紙）を
年1回発行

群馬県PTA家庭教育研究集会



あいさつを行う群馬県 PTA 連合会岩村会長

令和元年11月1日（金）に群馬県PTA家庭教育研究集会が、群馬県生涯学習センターで開催され、渋川市からは17名が参加しました。

この研究集会は、子どもに関する様々な問題に対応するため、保護者と教師が子どもたちの心と体の健やかな成長に向けた取り組みについて情報交換や研究協議を行い共通理解を図るために、群馬県PTA連合会が主催しているものです。

令和元年度は「子どもの生きる力をはぐくむ家庭の教育力の充実」-明るい未来へ 絆を深め 夢を叶えよう！-を研究集会テーマに定め、県内から300名を超える参加者が集まりました。

全体会は、臨床心理士・おやこ心理相談室室長・群馬県スクールカウンセラーの佐藤文昭先生から「自己肯定感を高めるコーチング」と題した講演があり、自分のコミュニケーションタイプをチェックし、タイプ別のコミュニケーションスタイルについて分かりやすく説明していただきました。

全体会の後は、「食育-食事から考える身体作り-」「体力づくり-健やかな成長へと導く体力づくり-」「セーフネット-SNSの危険性-」「いじめ-親としてできること-」「生活習慣-思春期の子どもとのコミュニケーション-」の5つの分散会にわかれ、様々な視点から子どもに関する問題について意見交換がされました。子どもたちが心豊かにたくましく育っていくためには「家庭の教育力、親子の関わり」が大事だと改めて感じました。



講演を行った佐藤文昭先生

◆◆◆研修会報告◆◆◆

令和元年12月13日（金）に、テーマを「群馬県の歴史と食」として家庭教育委員会研修会を開催しました。

まずは、富岡製糸場に向かうバスの中で、令和元年11月1日に開催された群馬県PTA家庭教育研究集会の全体会や各分散会で使用された資料を配布し、会の振り返りを行いました。

バスの中での意見交換後、富岡製糸場にて群馬県の歴史を学びました。富岡製糸場は、明治5年(1872年)に明治政府が日本の近代化のために設立した模範器械製糸場であり、平成26年に「旧富岡製糸場操糸所、東置繭所、西置繭所」が国宝に指定されました。操糸所内部の自動操糸機などの歴史ある様々な物を見ることで、渋川市にある様々な文化財や歴史的建造物を次世代に繋げていくことの重要性を感じました。

次に、こんにゃくパークを訪れ、手作りこんにゃくゼリーフルーツ作成体験を行いました。用意されたカップにフルーツを詰め、上からこんにゃく成分の入ったゼリーを流し込み固める体験でしたが、皆慣れた手つきで行っていたことが印象的でした。その後、無料こんにゃくバイキングも体験するなど、一日を通して様々なことを学び体験することができた有意義な研修会でした。



操糸内部の自動操糸機



東置繭所前にて集合写真



手作り体験中の様子